

令和4年度 水道水に関するアンケート 調査結果報告書・概要版

～安全な水 お客さまへ～



令和5年1月

調査の目的

本市水道事業を取り巻く状況が大きく変化している中、水道事業に対するお客さまの評価や意見を的確に把握し、今後の水道事業運営の基礎資料とすることを目的として、本調査を実施した。

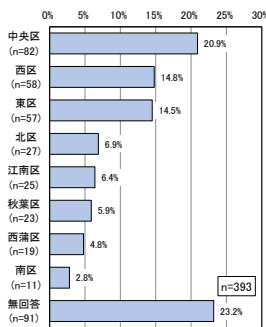
調査の設計

- ◆調査地域：新潟市の給水区域
- ◆調査対象：新潟市の上水道を利用している事業所
- ◆標本数：1,000
- ◆抽出方法：無作為抽出法（検針のためのお客さま情報から無作為に抽出）
- ◆調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆調査期間：令和4年11月17日（木）から12月12日（月）までの26日間
- ◆調査項目：
 - ①フェイスシート（お客さまの属性）
 - ②水道水の節水状況に関する設問
 - ③災害時における飲料水の確保に関する設問
 - ④水道局の広報・PRに関する設問
 - ⑤事業運営全般に関する設問

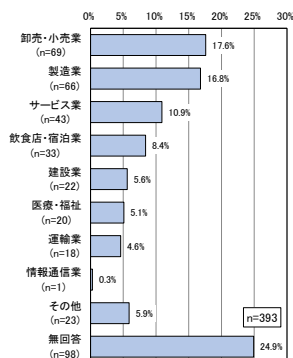
回収結果

- ◆発送数：1,000件
- ◆有効回収数：393件
- ◆有効回収率：39.3%

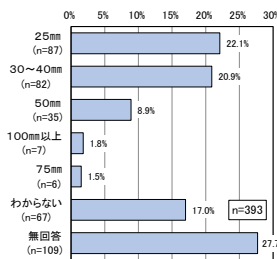
◆所在地



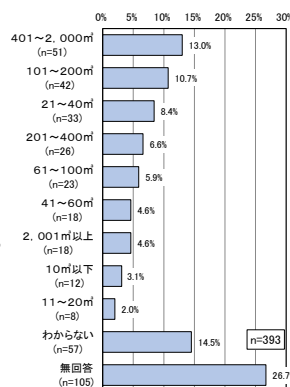
◆業種



◆水道メーター口径



◆水道使用水量

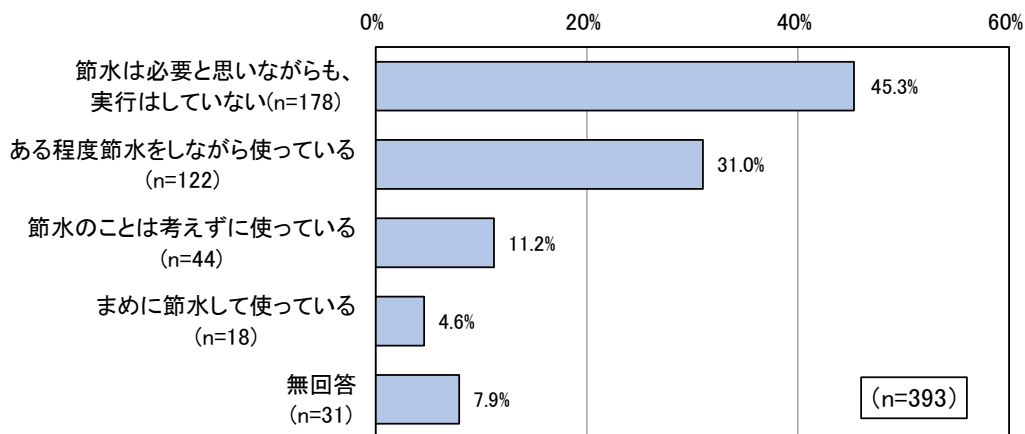


水道水の 節水状況

「節水は必要と思いながらも、
実行はしていない」

45.3%

問 あなたの事業所では、日ごろ節水を心がけていますか。



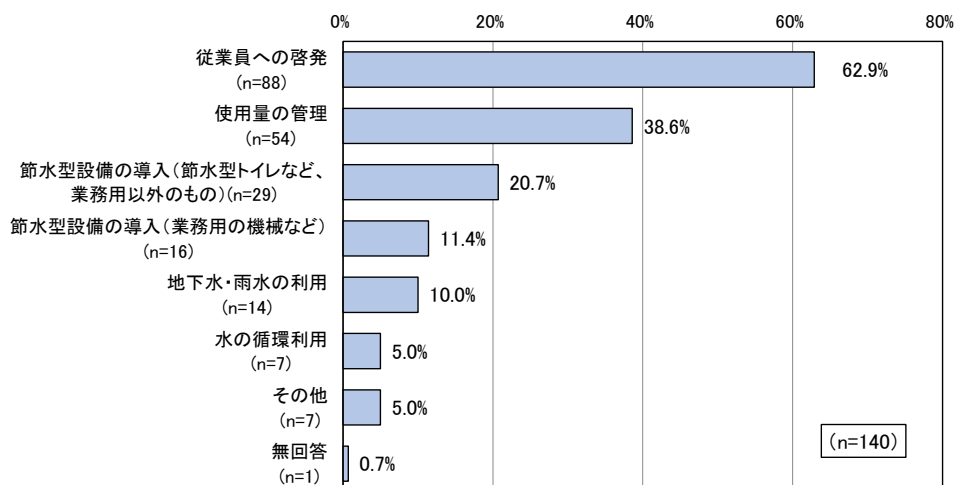
「まめに節水している」と「ある程度節水をしながら使っている」が合わせて35.6%と3割強になっている。

取り組み中の 節水対策

「従業員への啓発」

62.9%

問 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。また、その時期はいつごろですか。



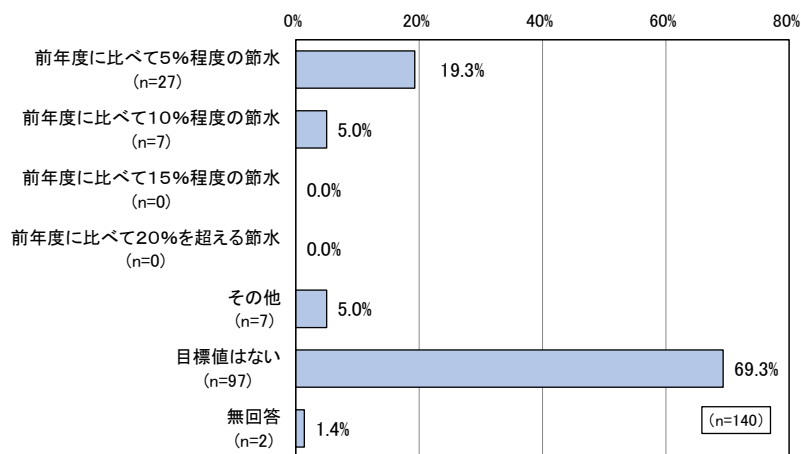
現在取り組んでいる節水対策は、「従業員への啓発」が62.9%と最も高く、「使用量の管理」が38.6%と続いている。

水道使用量の目標値

「目標値はない」

69.3%

問 節水するための水道使用量の目標値はありますか。



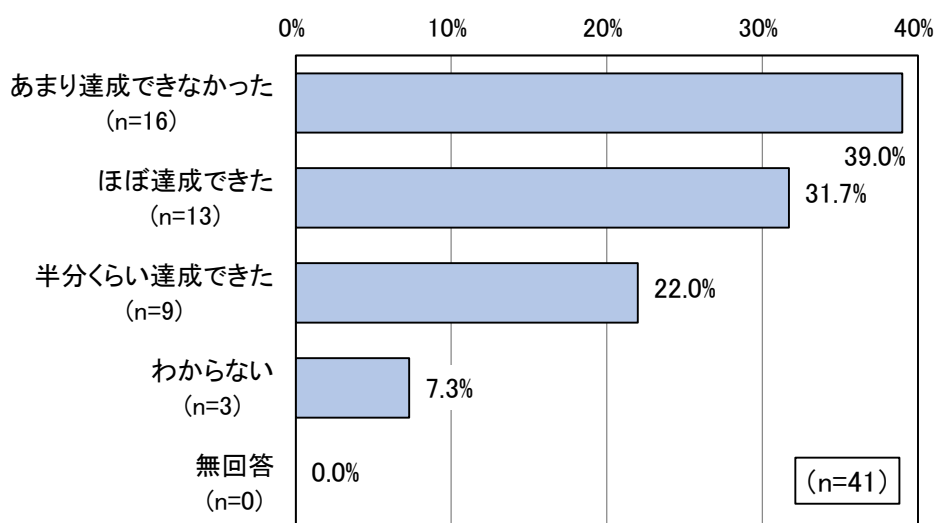
節水の目標値については、「目標値はない」69.3%が最も高くなっている。

節水目標の達成状況

「あまり達成できなかった」

39.0%

問 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。



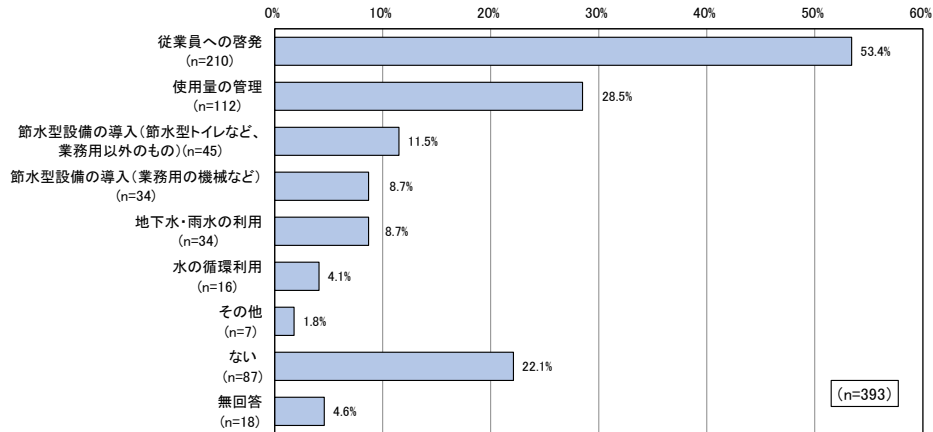
「あまり達成できなかった」が39.0%と最も高く、また、「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」事業所の合計が53.7%だった。

取り組みたい 節水対策

「従業員への啓発」

53.4%

問 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。



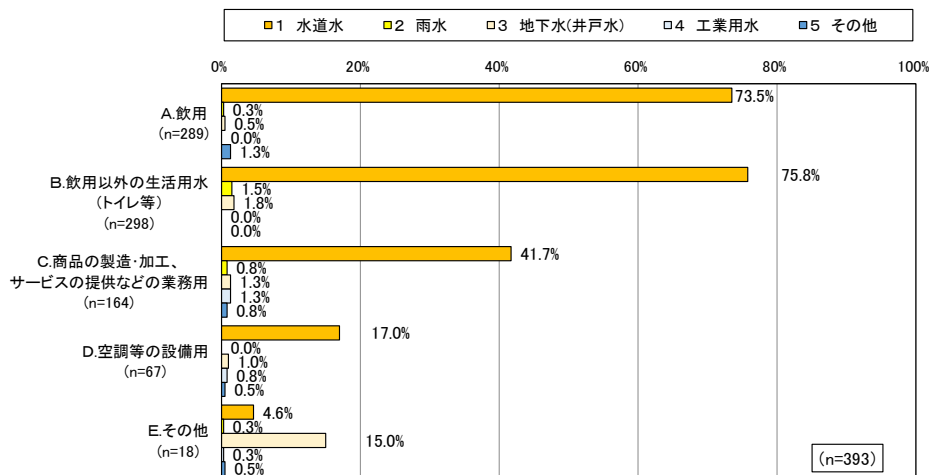
今後取り組みたい節水対策は、「従業員への啓発」が53.4%と最も多く、「使用量の管理」が28.5%と続いている。

利用水と その用途

全てにおいて「水道水」が基本となっている

問 水道水の他に利用している水はありますか。

また、水道水およびそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。



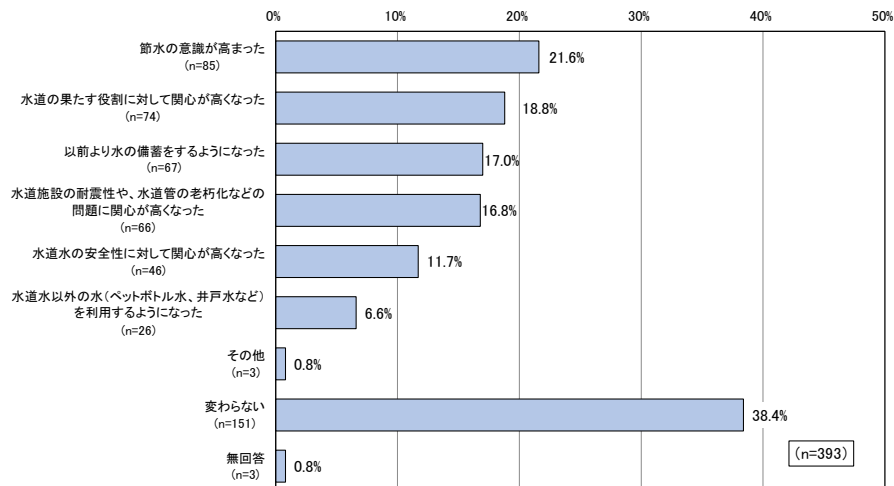
どの用途においても、水道水の利用率が高いが「その他」において地下水（井戸水）が15.0%と高い数値を示している。

水に対する 考え方の変化

「変わらない」

38.4%

問 近年の大震災や水害を経て、あなたの事業所では水に対する考え方は変化しましたか。



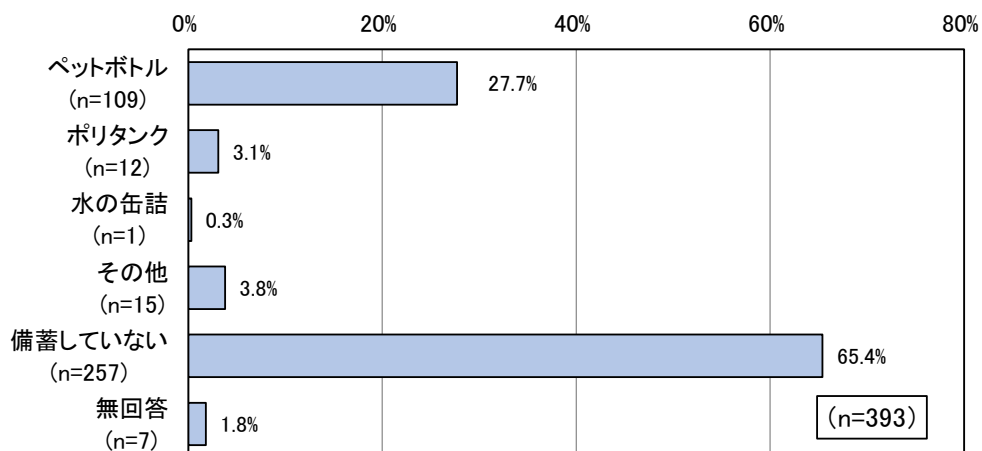
震災後の水に対する意識の変化については、「変わらない」が38.4%、「節水の意識が高まった」が21.6%と続いている。

飲料水の 備蓄

「ペットボトル」

27.7%

問 あなたの事業所では、どのくらいの量の飲料水を備蓄していますか。



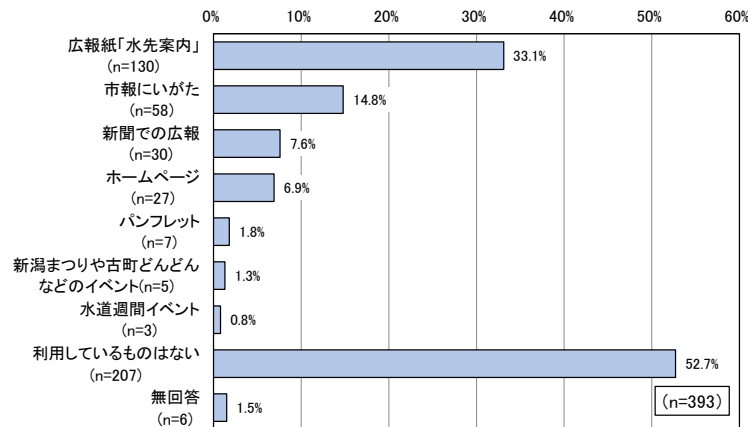
備蓄について、ペットボトルが27.7%と最も高い数値を示している。

利用している
広報媒体

『広報紙「水先案内」』

33.1%

問 水道局が行っている広報媒体の中で、あなたの事業所が利用しているものは次のうちどれですか。



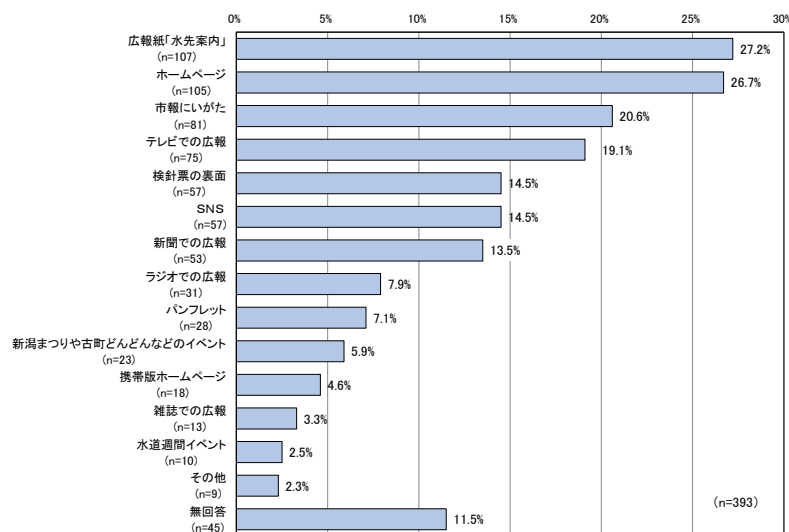
水道局が行っている広報の媒体の中で、事業所に最も利用されている広報媒体は、『広報紙「水先案内」』で33.1%を占めている。

力を入れて
ほしい媒体

『広報紙「水先案内」』

27.2%

問 水道局が広報活動を行っていく上で、今後力を入れてほしい媒体は次のうちどれですか。



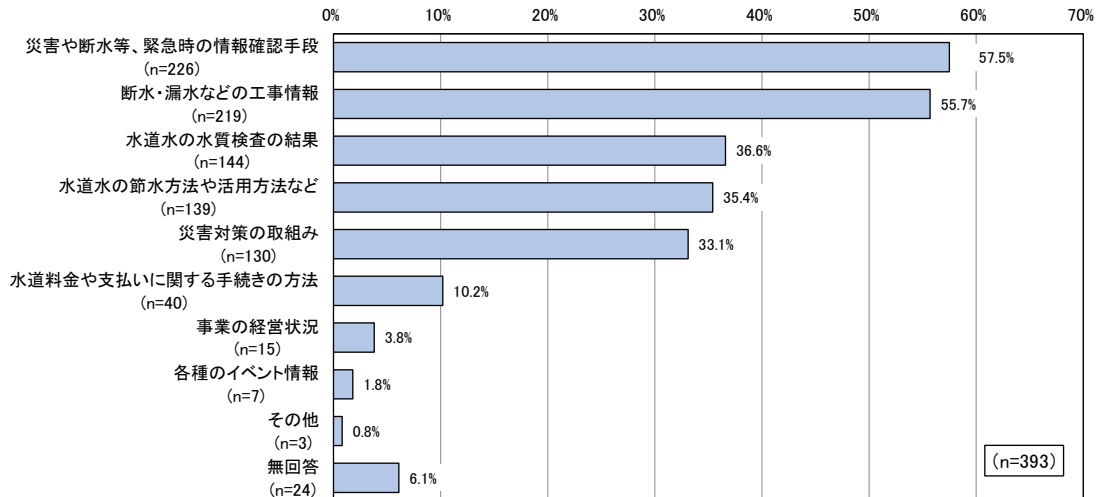
今後力を入れてほしい媒体としては、『広報紙「水先案内」』が最も多く、27.2%を占めている。

**必要な情報や
お知らせ**

「災害や断水等、緊急時の
情報確認手段」

57.5%

問 あなたの事業所が必要と考える水道局からの情報やお知らせは、次のうちどれですか。



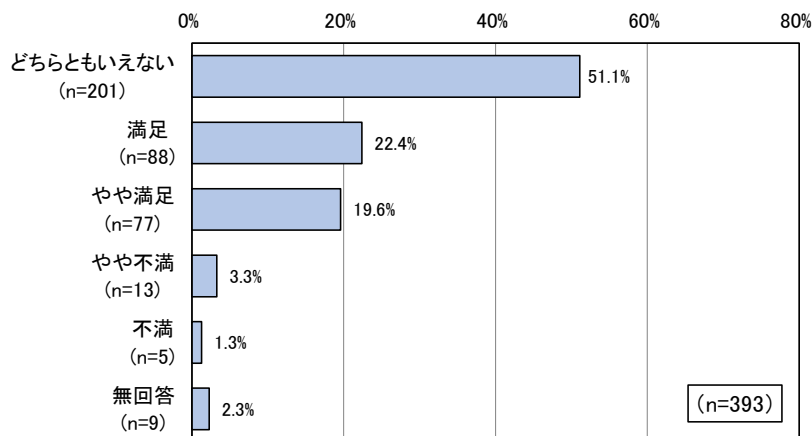
事業所が最も必要と考える情報やお知らせは、「災害や断水等、緊急時の情報確認手段」で57.5%を占めている。

**総合的な
満足度**

「どちらともいえない」

51.1%

問 新潟市の水道事業について、どのように思いますか。



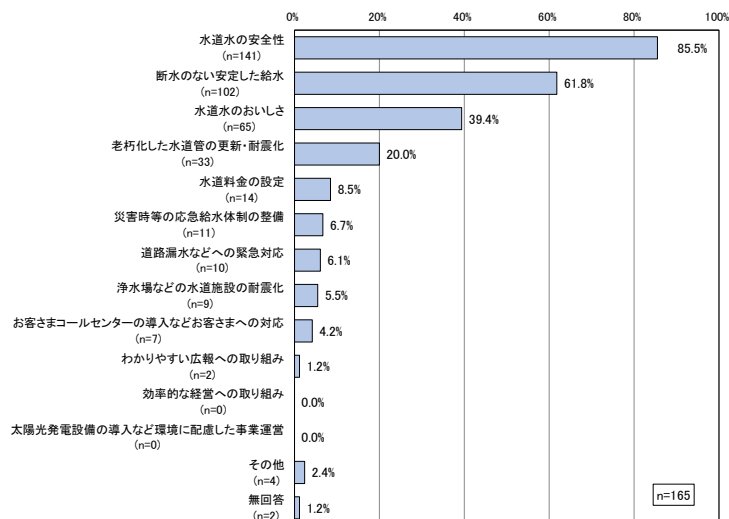
「どちらともいえない」が51.1%と最も高い。「満足」「やや満足」と答えた事業所の割合は、42.0%しかなかった。

満足
している点

「水道水の安全性」

85.5%

問 新潟市の水道事業について満足している点は、次のうちどれですか。



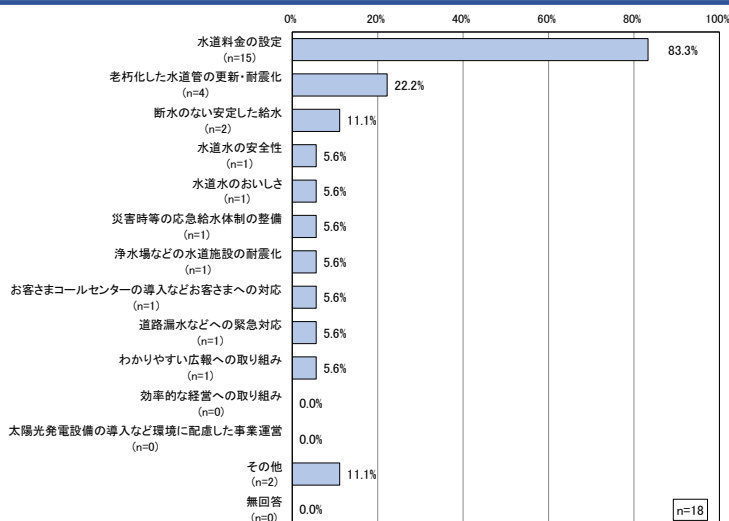
新潟市の水道事業について事業所が満足している点は、「水道水の安全性」が85.5%で圧倒的で、次に「断水のない安定した給水」が61.8%と続いている。

不満な点

「水道料金の設定」

83.3%

問 新潟市の水道事業について不満な点は、次のうちどれですか。



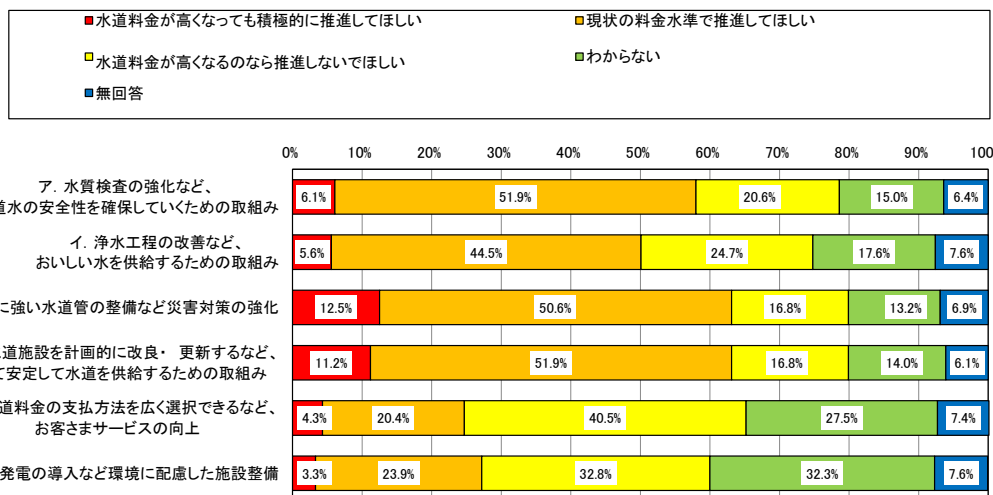
新潟市の水道事業について、不満な点は、「水道料金の設定」が83.3%と圧倒的に高く、次いで「老朽化した水道管の更新・耐震化」が22.2%と続いている。

水道局の取組みと 水道料金との関係

ア～エの取組み
「現状の料金水準で
推進してほしい」

44.5～
51.9%

問 水道局が行っている次のア～カの取組みについて、今後、水道料金との関係をどのよう
にすべきとお考えですか。



ア～エの取組みに関しては「現状の料金水準で推進してほしい」が最も高く、オ～カの取組は「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が「現状の料金水準で推進してほしい」を上回っている。